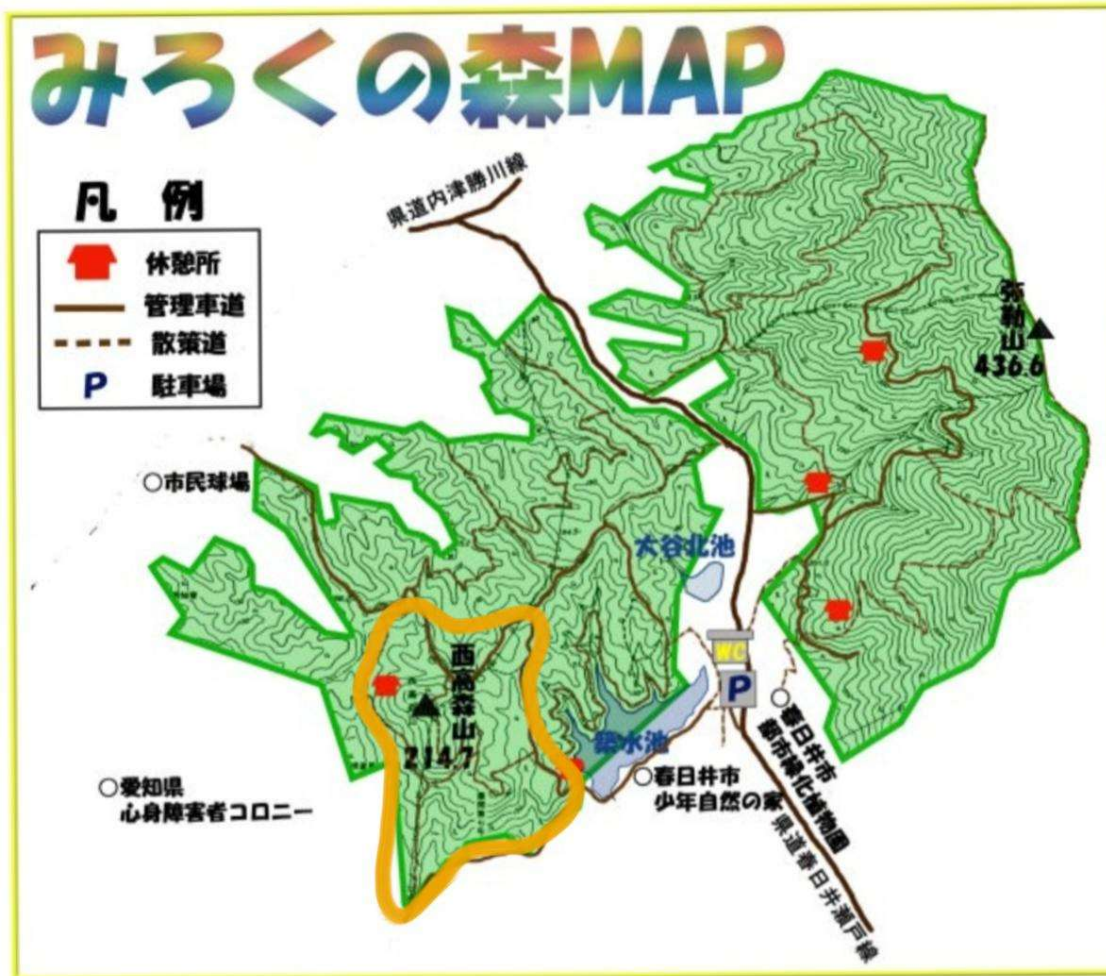
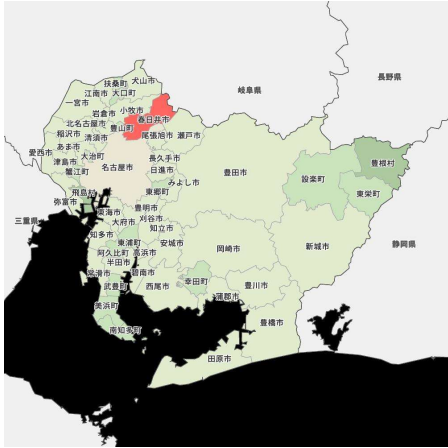


「みろくの森」の 環境再生を目指して

中級コース
長谷川真理子

2023.11.25(土)

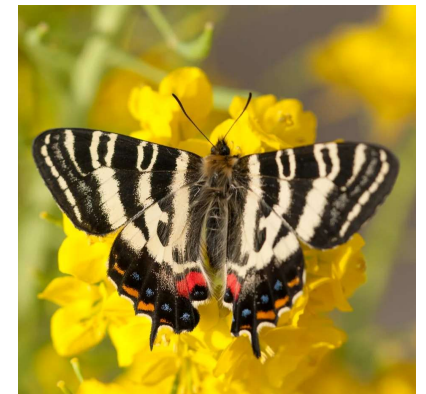
みろくの森について



- 春日井三山の麓
弥勒山436.6m
道樹山429m
大谷山425m

- ギフチョウ
(準絶滅危惧)

- 生活環境保全林
(区域面積 288ha)



Map-It マップイット©

愛知県庁HP 県有林事務所 みろくの森

<https://www.pakutaso.com/20200558134post-27002.html>

愛知県パンフレット「生活環境保全林整備事業 みろくの森」

自己紹介(AKJ参加の動機など)

2021年 トレッキング目的で訪れる

ゴミを発見→美化活動を個人的に開始

森林整備に
興味

一人の限界

勉強したい

2022年 AKJ基礎コース(生物多様性チーム)

個人の研究がしたい

2023年 AKJ中級コース

継続中の活動

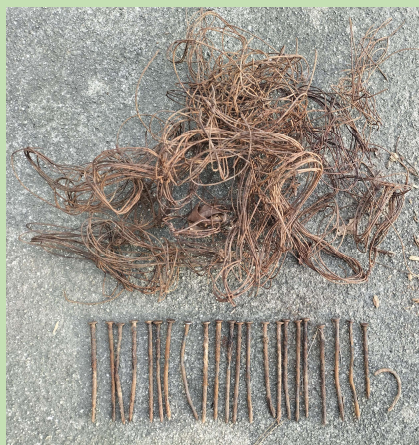
- 頻 度：1～3日/週
- 時間帯：早朝(夜明けの時間に合わせて)
- 時 間：30～90分
- 季 節：夏以外
- 内 容：ゴミ拾い、倒木の整理、土留めを作るなど

様々な種類の ゴミ



2023.10.14 撮影

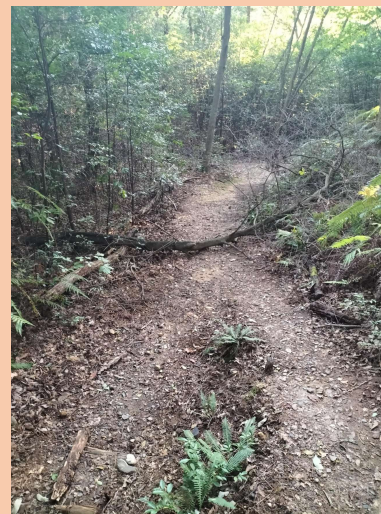
針金と釘 (二脚鳥居支柱)



2023.10.25 撮影

倒木の整理

〈BEFORE〉



〈AFTER〉



2023.10.13 撮影

中級コースでの活動

①文献調査(書籍、論文など)



②山の定期調査

③県職員の方(県有林事務局)へヒアリング

④今後の展望

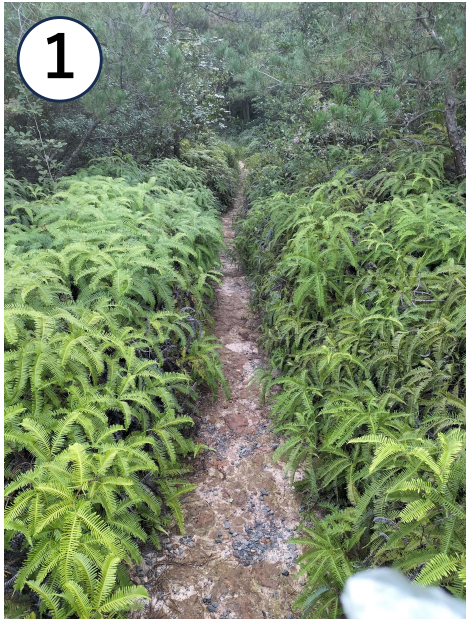
現状1(整備に関すること)

生活環境保全林は、既存の森林を生かしつつ
国土の保全はもとより
保健休養にふさわしい豊かな環境をつくり、
地域の人々の憩いの場として活用できるように整備した森林です。

愛知県パンフレット「生活環境保全林整備事業 みろくの森」

- H6～10頃 国の治山事業の補助を受けて整備
(管理道、歩道、伐採及び植栽など)
- その後は維持管理的に整備していたが、最近はできていない
- 危険木などの処理を主に行っている
- 活動するボランティア3団体
ギフチョウ保護、湿地保護、整備・ゴミ拾い(人工林)

現状 2 (西高森山周辺の様子)



- ①シダの繁茂で狭くなった山道
- ②崩壊しかけている階段
- ③荒れた竹林
- ④下草がなく表土むき出しの斜面
- ⑤ヤブ化した湿地
- ⑥不法投棄

「みろくの森」で実現したいこと

1.気候危機対策

災害が起きた時、被害を極力抑えたい

2.生態系サービスの充実

森林の価値が見直される中で、より価値を高めていきたい

3.生活環境保全林としての機能維持向上

自然観察・森林レクリエーションの場としての

機能の維持向上がしたい

「現状維持」から

「再生を目指した介入」へ

環境再生活動を通じた 森林環境の改善

「環境再生」とは…

●人工的に地形を変えることで大地は疲弊する

(ex.道路、護岸、砂防ダム、農地整備、宅地造成など)

→水脈と土中の空気の流れを変える

→植物層を変える

→やがては周囲の気候さえ変えてしまう

【環境再生手法】

分断された水脈・地脈をつなぎ直す

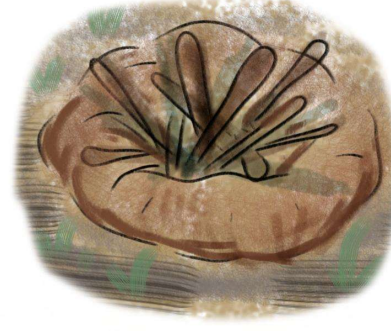
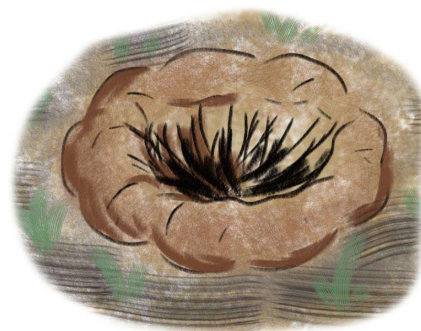
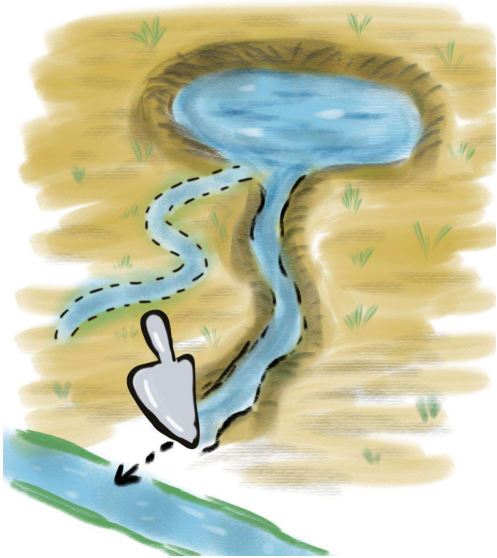
○長期的に疲弊してきた大地を復活・蘇生させる

環境再生 7つの手法

- ①風の草刈り
- ②風の剪定
- ③小さな水切り

- ④水脈溝と「点穴」
- ⑤抵抗柵と植栽土木
- ⑥沢や水路の再創造

- ⑦グランドカバー



- ①穴を掘る (深さ30cm程度)
- ②炭を入れ、枝や竹を放射線状(しがらみ構造)に置く
- ③周囲を軽く埋め戻す ※人の通りには竹カゴを被せると安全

〈具体的な効果〉

- ・土中環境が良くなる(微生物が増える)
- ・水が緩やかに浸透する
- ・グライ化(無酸素状態)の解消
- ・ヤブの沈静化 など

実現に向けた3ステップ

1.小さく始める

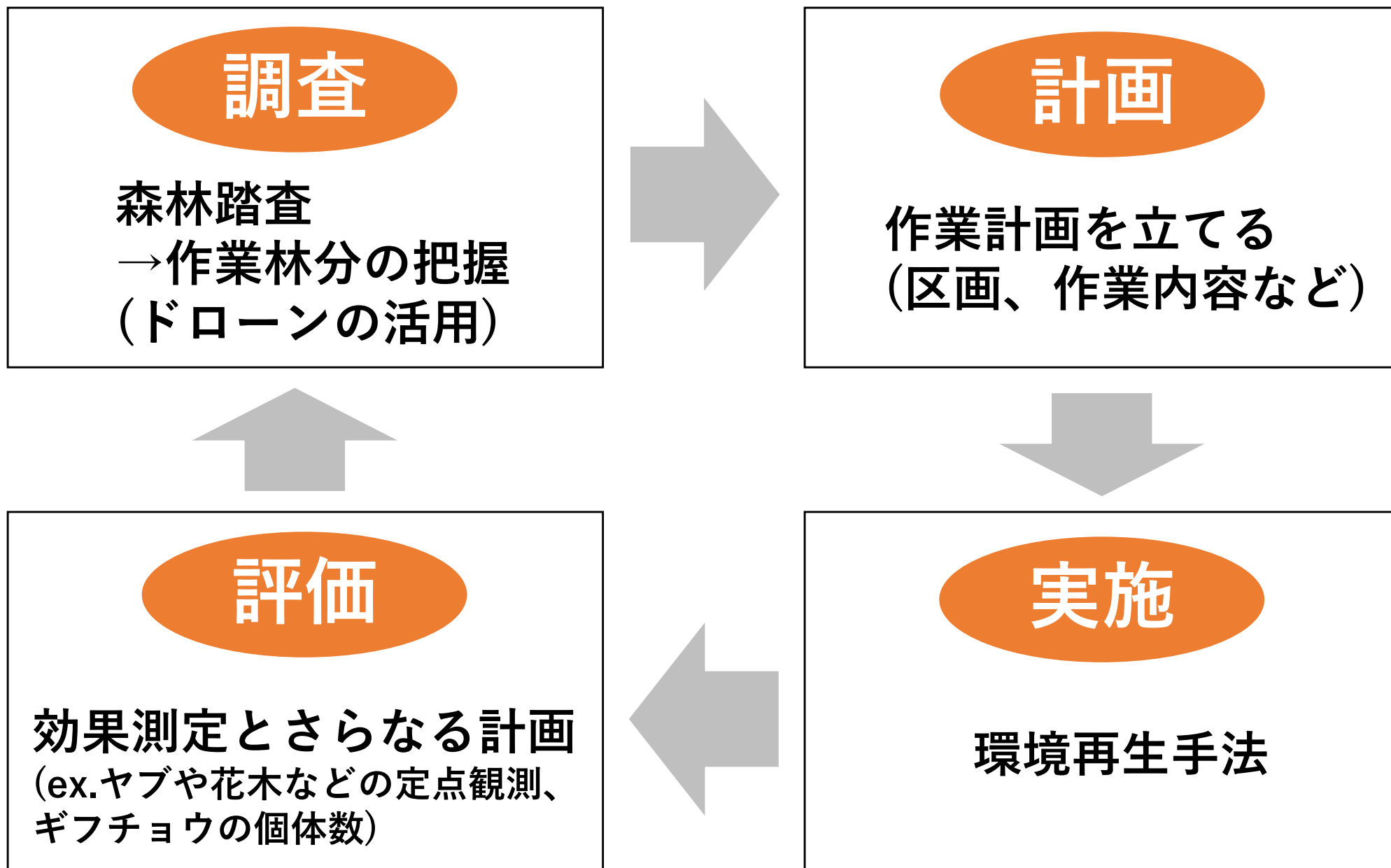
- ・仲間を集める
- ・やりたいことの共有
- ・小規模で実践する

2.実績をつくる

- ・グループをつくる
- ・グループとしての
実績をつくる

3.森と緑づくり事業へ 応募する

具体的な進め方



波及効果

水と空気の循環が改善
→土中環境が良くなる
保水機能向上

【調整サービス】
8気候調整/9局所災害の緩和
/11水質浄化

植生の安定
→落ち着いた豊かな自然
→動植物の住みやすい環境

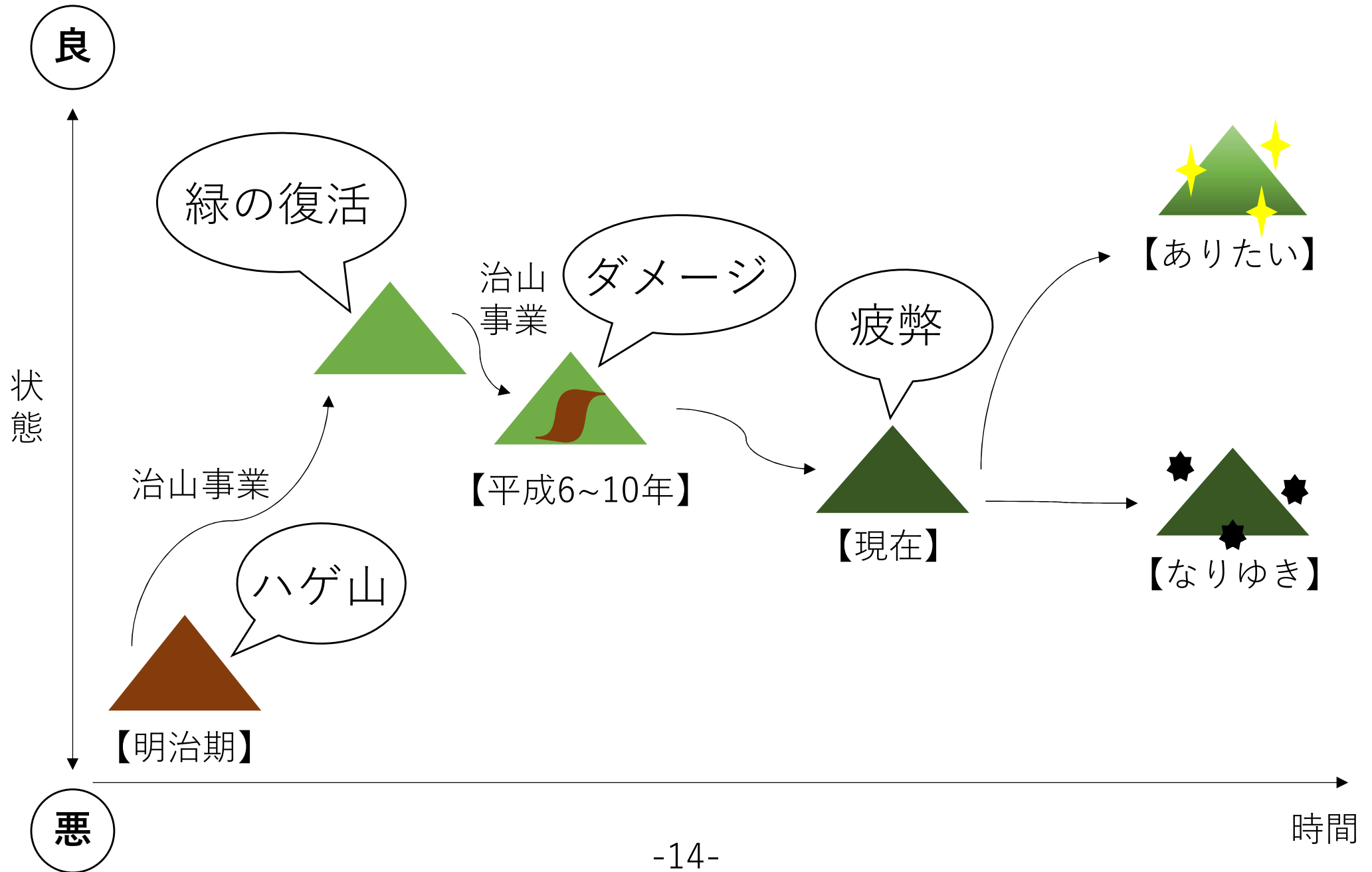


生活環境保全林
としての機能向上
→利用者の喜びに

【生息・生育地サービス】
16生息・生育環境の提供

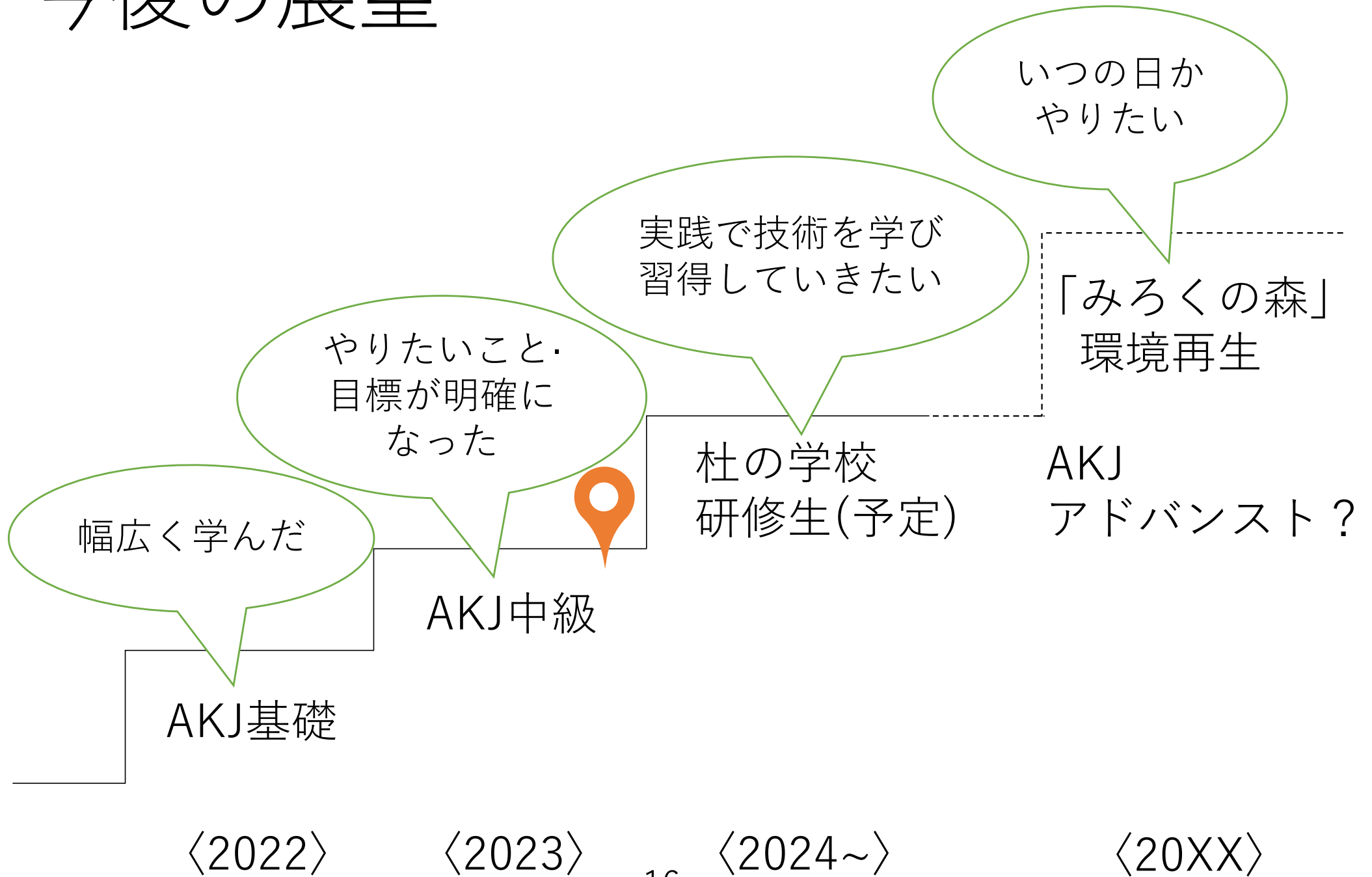
【文化的サービス】
18自然環境の保全/
19レクリエーションや
観光の場と機会

まとめ(過去から未来へ向けて)



- 維持管理的な整備も難しい現状がある
- 一利用者として何かできることを考えてきた
- 「現状維持」から「環境再生を目指した介入」へ
- 水と空気が浸透・循環する大地を目指す
- 実現に向け、小さく始め、実績をつくる
- 生態系サービスが充実し、様々な波及効果を生む

今後の展望





ご静聴

ありがとう

ございました

